

令和6年度 年間授業計画

東京都立南葛飾高等学校 定時制課程

教科・科目	国語・国語総合	2単位	対象学年・組	4学年1・2組
教科書 副教材等	高等学校 改訂版 新編国語総合 (第一学習社)	教科担任	渡邊	

指導目標	<p>1. 国語を表現し、的確に理解する能力を育て、コミュニケーション能力を高め、思考力や想像力を高める。</p> <p>2. 社会に出たときに役立つ言語能力を身につける。</p> <p>3. 日本における言語文化に親しみ、感性を育て、豊かな人間性を身につける。</p>
------	---

学期	月	指導内容	時数	指導上の留意点
1学期	4	論理的な文章読解	4	基礎的な読解の方法を習得するようにする。 客観的に考えられるようにする。
	5	論理的な文章の書き方 事項ごとに情報を分類し、順序だてて文章を書く練習	8	
	6	論理的な話し方	8	
	7	敬語	4	
2学期	9	小説読解	8	修学旅行に向け、平和について考えさせる。 各地域の方言について学び、言語への関心を高めさせる。
	10	小説読解	8	
	11	小説読解	8	
	12	和歌 百人一首	4	
3学期	1	漢字検定4級レベルの漢字の練習とテスト 文集を作る。	10	読者にわかりやすい文章を書く意識を常に持つようにする。
	2	漢字検定4級レベルの漢字の練習とテスト 文集を作る。	8	
	3			

評価の観点・方法	定期考査・出席率、提出物(授業時のワークシートなど)、授業態度などを考慮し、総合的に判断する。
----------	---

東京都立南葛飾高等学校定時制課程 令和6年度 教科：公民 科目：倫理 年間授業計画

教科：公民 科目：倫理 単位数：2単位

対象学年組：第4学年1組～2組

教科担当者：(1組：木暮) (2組：木暮)

使用教科書：(『倫理』(東京書籍))

使用教材：(教科書、プリント)

	指導内容	科目：倫理の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	1 青年期の課題と自己形成 ①青年期の意義 ②青年期の課題と生き方	自らの体験や悩みを振り返ることを通して、青年期の意義と課題を理解させ、豊かな自己形成に向けて、他者と共に生きる自己の生き方について考えさせるとともに、自己の生き方が現代の倫理的課題と結び付いていることをとらえさせる。	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 発表、レポート、定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度、授業プリント	6
5月	2 人間としての自覚 ①ギリシャの思想 ②キリスト教	人生における哲学、宗教、芸術のもつ意義などについて理解させ、人間の存在や価値にかかわる基本的な課題について思索させることを通して、人間としての在り方生き方について考えを深めさせる。	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 発表、レポート、定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度、授業プリント	8
6月	③イスラーム ④仏教 ⑤中国の思想		【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 発表、レポート、定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度、授業プリント	8
7月	⑥中国の思想(続き)		【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 発表、レポート、定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度、授業プリント	3
9月	3 国際社会に生きる日本人の自覚 ①日本人の精神風土 ②仏教と日本人の思想形成 ③儒教と日本人の思想形成	日本人にみられる人間観、自然観、宗教観などの特質について、我が国の風土や伝統、外来思想の受容に触れながら、自己とのかかわりにおいて理解させ、国際社会に生きる主体性のある日本人としての在り方生き方について自覚を深めさせる。	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 発表、レポート、定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度、授業プリント	6
10月	④国学の思想 ⑤庶民の思想 ⑥西洋思想と日本人の近代化 ⑦国際社会に生きる日本人の自覚		【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 発表、レポート、定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度、授業プリント	8
11月	4 現代を生きる人間の倫理 ①人間の尊厳の根拠を求めて ②民主社会と自由を求めて ③社会変革の倫理を求めて ④新たな人間像を求めて	人間の尊厳と生命への畏敬、自然や科学技術と人間とのかかわり、民主社会における人間の在り方、社会参加と奉仕、自己実現と幸福などについて、倫理的な見方や考え方を身に付けさせ、他者と共に生きる自己の生き方にかかわる課題として考えを深めさせる。	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 発表、レポート、定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度、授業プリント	8
12月	⑤自然や科学技術と人間とのかかわり ⑥民主社会の成熟のために		【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 発表、レポート、定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度、授業プリント	7
1月	5 現代の課題を考える ①生命 ②家族	生命、環境、家族、地域社会、情報社会、文化と宗教、国際平和と人類の福祉などにおける倫理的課題を自己の課題とつなげて探究する活動を通して、論理的思考力や表現力を身に付けさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めさせる。	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 発表、レポート、定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度、授業プリント	8
2月	③環境		【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 発表、レポート、定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度、授業プリント	8

令和6年度 年間授業計画

東京都立南葛飾高等学校 定時制課程

教科・科目	数学・数学A	2単位	対象学年・組	4学年1・2組
教科書 副教材等	改訂版 新 高校の数学A(数研出版)	教科担任	五十嵐 俊介	

指導目標	「図形の性質」「整数の性質」について、中学校までの数学およびこれまで学んだ数学の知識を確認しながら、具体例を通して数学的なイメージを持つことができるように心がけ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。そして、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにし、創造する力を高める。
------	---

学期	月	指導内容	時数	指導上の留意点
1 学期	4	第2章「図形の性質」(第1節 平面図形) 1 図形の基本	6	<ul style="list-style-type: none"> 図形の基本的な性質について、具体的な図形を使って、視覚的に理解し、活用できるようにする。 三角形の角の二等分線、外心、内心、重心の性質を理解し、基本的な問題を解くことができるようにする。 円周角の定理、円に内接する四角形、円の接線、さらに方べきの定理について理解し、基本的な問題を解くことができるようにする。
	5	2 角の二等分線と線分の比 3 三角形の外心、内心、重心 4 円周角の定理	8	
	6	5 円に内接する四角形 6 円の接線 7 方べきの定理	8	
	7	1学期の復習	6	
2 学期	9	☆1学期の内容についての復習(問題演習) 8 2つの円 ☆第1節の復習(問題演習)	8	<ul style="list-style-type: none"> 1学期の学習した内容の問題を解けるようにする。 2つの円に関わる基本的な問題が解けるようにする。 1学期からのまとめとして、図形の性質を使って、基本的な問題が解けるようにする。 約数と倍数について理解を深め、整数の性質について興味を持てるようにする。 ユークリッドの互除法を利用して最大公約数をより簡単に求めることができるようにする。
	10	第2章「図形の性質」(第2節 空間図形) 1 空間の直線、平面 2 正多面体	8	
	11	第3章「整数の性質」 1 約数と倍数 2 ユークリッドの互除法	8	
	12	2学期の復習	6	
3 学期	1	第3章「整数の性質」 3 方程式を満たす整数 4 2進数	6	<ul style="list-style-type: none"> 方程式が整数を解として持つときの解法を、具体的な問題から考察し、簡単な問題を解くことができるようにする。 2進数の構造を学ぶことで数字に対する理解を深める。 分数と少数について認識を深め、分数を少数に、少数を分数に直す方法を理解する。
	2	5 分数と小数	4	
	3	学年末考査	2	

評価の観点・方法	授業への取り組み・課題プリントの提出・定期考査の成績・出席等を総合的に評価する。
----------	--

令和6年度 年間授業計画

東京都立南葛飾高等学校 定時制課程

教科・科目	理科・物理基礎	2単位	対象学年・組	4学年 1・2組
教科書 ・ 副教材等	実教出版 高校物理基礎新訂版	教科担任	磯田 有成	

指導目標	物理学と日常生活や社会との関連についての重要性に気付かせ、物体の運動など、身近な物理現象やエネルギーへの関心を高めること。また、時折実験授業を行うことで、生徒の物理に対する興味や感心を惹き、身近で物理学的な事物・現象を物理学的に解釈し、『物理的に考える力を身につける』ことを授業のねらいとする。
------	---

学期	月	指導内容	時数	指導上の留意点
1 学期	4	速さと速度 等速直線運動	4	力学台車やばねばかり等の物理機器などを活用し、物理の世界を直接眼で見せることで、授業に惹きつけられるようにする。ボール等を用いて、安全に留意しながら物体の落下の様子を確認させる。物理における「仕事」の意味を理解させる。また、仕事とエネルギーの関係についても、日常生活の例を用いて説明をする。運動エネルギーと位置エネルギーが互いに変換されることを理解させる。その際に、各エネルギーの和は保たれることを説明する。 計算を要する問題は難易度を調整し、生徒が取り組みやすいように配慮をする。
	5	落体の運動 力のつり合いと運動の法則	7	
	6	仕事とエネルギー	7	
	7	力学的エネルギーの保存	7	
2 学期	9	熱と温度 熱の移動と保存	7	熱という目に見えない量について、化学にて学習している粒子の熱運動と関連させて、考えさせる。物体に対して仕事をすることで、物体の温度が上昇することを理解させる。身のまわりの「波」を例に、波の性質を考えさせる。ウェーブマシン等を活用し、「波」を観察させる。弦楽器を例に、弦の固有振動について理解させるとともに、音の高さを左右する要素についても理解させる。 計算を要する問題は難易度を調整し、生徒が取り組みやすいように配慮をする。
	10	熱と仕事	8	
	11	波の性質 音と音波	8	
	12	弦の固有振動	7	
3 学期	1	静電気 電力	7	静電気のエネルギーを体感できるようにする。我々の生活に欠かすことのできない「電気」について考えさせる。自然界にはさまざまなエネルギーが存在すること、そしてそれらは互いに変換されることを理解させる。また、これからのエネルギー問題について、考えさせる。
	2	エネルギー保存の法則	8	
	3			

評価の観点・方法	出席率、考查点、提出物(授業プリント、実験レポートなど)、授業態度を考慮する。
----------	---

南葛飾高等学校定時制課程 令和6年度 教科保健体育 科目体育 年間授業計画

教科 科：保健体育 科 目：体育 単位数：2単位

対象学年組：（第4学年1組～2組）

教科担当者：（1組：安藤慶太・米長保）（2組：安藤慶太・米長保）

使用教科書：（最新高等保健体育 改訂版（大修館））

使用教材：（最新高等保健体育 改訂版（大修館））

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	運動能力テスト（スポーツテスト計測）	1. 仲間との協力や交流を大切にし、楽しく学習ができるようにする。 2. 体ほぐしの意義を理解し、施設・用具等の点検を行い、安全に学習できるようにする。 3. 勝敗について公正な態度がとれるようにする。 4. 体育理論については、各单元ごとに適宜入れ、オリンピック・パラリンピックについても学習する。 5. 各種の運動の特性に応じた技能を身に付けるようにする。 6. 運動についての自他の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 7. 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	1. 出席状況・学習に対する意欲・関心について評価する。 2. 運動技能の向上について評価する。 3. 仲間との協力や公正な態度を評価する。	6
5月	運動能力テスト（スポーツテスト計測） 選択制授業（バドミントン・卓球・バスケットボール・バレーボール・サッカー・ソフトボール・テニス）	1. 仲間との協力や交流を大切にし、楽しく学習ができるようにする。 2. 体ほぐしの意義を理解し、施設・用具等の点検を行い、安全に学習できるようにする。 3. 勝敗について公正な態度がとれるようにする。 4. 体育理論については、各单元ごとに適宜入れ、オリンピック・パラリンピックについても学習する。 5. 各種の運動の特性に応じた技能を身に付けるようにする。 6. 運動についての自他の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 8. 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	1. 出席状況・学習に対する意欲・関心について評価する。 2. 運動技能の向上について評価する。 4. 仲間との協力や公正な態度を評価する。	8
6月	選択制授業（バドミントン・卓球・バスケットボール・バレーボール・サッカー・ソフトボール・テニス）	1. 仲間との協力や交流を大切にし、楽しく学習ができるようにする。 2. 体ほぐしの意義を理解し、施設・用具等の点検を行い、安全に学習できるようにする。 3. 勝敗について公正な態度がとれるようにする。 4. 体育理論については、各单元ごとに適宜入れ、オリンピック・パラリンピックについても学習する。 5. 各種の運動の特性に応じた技能を身に付けるようにする。 6. 運動についての自他の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 9. 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	1. 出席状況・学習に対する意欲・関心について評価する。 2. 運動技能の向上について評価する。 5. 仲間との協力や公正な態度を評価する。	9
7月	選択制授業（バドミントン・卓球・バスケットボール・バレーボール・サッカー・ソフトボール・テニス）	1. 仲間との協力や交流を大切にし、楽しく学習ができるようにする。 2. 体ほぐしの意義を理解し、施設・用具等の点検を行い、安全に学習できるようにする。 3. 勝敗について公正な態度がとれるようにする。 4. 体育理論については、各单元ごとに適宜入れ、オリンピック・パラリンピックについても学習する。 5. 各種の運動の特性に応じた技能を身に付けるようにする。 6. 運動についての自他の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 10. 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	1. 出席状況・学習に対する意欲・関心について評価する。 2. 運動技能の向上について評価する。 6. 仲間との協力や公正な態度を評価する。	7

南葛飾高等学校定時制課程 令和6年度 教科保健体育 科目体育 年間授業計画

教科 科：保健体育 科目：体育 単位数：2単位

対象学年組：（第4学年1組～2組）

教科担当者：（1組：安藤慶太・米長保）（2組：安藤慶太・米長保）

使用教科書：（最新高等保健体育 改訂版（大修館））

使用教材：（最新高等保健体育 改訂版（大修館））

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9月	選択制授業（バドミントン・卓球・バスケットボール・バレーボール・サッカー・ソフトボール・テニス）	1. 仲間との協力や交流を大切にし、楽しく学習ができるようにする。 2. 体ほぐしの意義を理解し、施設・用具等の点検を行い、安全に学習できるようにする。 3. 勝敗について公正な態度がとれるようにする。 4. 体育理論については、各單元ごとに適宜入れ、オリンピック・パラリンピックについても学習する。 5. 各種の運動の特性に応じた技能を身に付けるようにする。 6. 運動についての自他の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 1 2. 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	1. 出席状況・学習に対する意欲・関心について評価する。 2. 運動技能の向上について評価する。 8. 仲間との協力や公正な態度を評価する。	8
10月	選択制授業（バドミントン・卓球・バスケットボール・バレーボール・サッカー・ソフトボール・テニス）	1. 仲間との協力や交流を大切にし、楽しく学習ができるようにする。 2. 体ほぐしの意義を理解し、施設・用具等の点検を行い、安全に学習できるようにする。 3. 勝敗について公正な態度がとれるようにする。 4. 体育理論については、各單元ごとに適宜入れ、オリンピック・パラリンピックについても学習する。 5. 各種の運動の特性に応じた技能を身に付けるようにする。 6. 運動についての自他の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 1 3. 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	1. 出席状況・学習に対する意欲・関心について評価する。 2. 運動技能の向上について評価する。 9. 仲間との協力や公正な態度を評価する。	8
11月	選択制授業（バドミントン・卓球・バスケットボール・バレーボール・サッカー・ソフトボール・テニス）	1. 仲間との協力や交流を大切にし、楽しく学習ができるようにする。 2. 体ほぐしの意義を理解し、施設・用具等の点検を行い、安全に学習できるようにする。 3. 勝敗について公正な態度がとれるようにする。 4. 体育理論については、各單元ごとに適宜入れ、オリンピック・パラリンピックについても学習する。 5. 各種の運動の特性に応じた技能を身に付けるようにする。 6. 運動についての自他の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 1 4. 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	1. 出席状況・学習に対する意欲・関心について評価する。 2. 運動技能の向上について評価する。 1 0. 仲間との協力や公正な態度を評価する。	9
12月	選択制授業（バドミントン・卓球・バスケットボール・バレーボール・サッカー・ソフトボール・テニス）	1. 仲間との協力や交流を大切にし、楽しく学習ができるようにする。 2. 体ほぐしの意義を理解し、施設・用具等の点検を行い、安全に学習できるようにする。 3. 勝敗について公正な態度がとれるようにする。 4. 体育理論については、各單元ごとに適宜入れ、オリンピック・パラリンピックについても学習する。 5. 各種の運動の特性に応じた技能を身に付けるようにする。 6. 運動についての自他の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 1 5. 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	1. 出席状況・学習に対する意欲・関心について評価する。 2. 運動技能の向上について評価する。 1 1. 仲間との協力や公正な態度を評価する。	7

南葛飾高等学校定時制課程 令和6年度 教科保健体育 科目体育 年間授業計画

教科 科：保健体育 科目：体育 単位数：2単位

対象学年組：（第4学年1組～2組）

教科担当者：（1組：安藤慶太・米長保）（2組：安藤慶太・米長保）

使用教科書：（最新高等保健体育 改訂版（大修館））

使用教材：（最新高等保健体育 改訂版（大修館））

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	選択制授業（バドミントン・卓球・バスケットボール・バレーボール・サッカー・ソフトボール・テニス）	1. 仲間との協力や交流を大切にし、楽しく学習ができるようにする。 2. 体ほぐしの意義を理解し、施設・用具等の点検を行い、安全に学習できるようにする。 3. 勝敗について公正な態度がとれるようにする。 4. 体育理論については、各单元ごとに適宜入れ、オリンピック・パラリンピックについても学習する。 5. 各種の運動の特性に応じた技能を身に付けるようにする。 6. 運動についての自他の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 16. 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	1. 出席状況・学習に対する意欲・関心について評価する。 2. 運動技能の向上について評価する。 12. 仲間との協力や公正な態度を評価する。	8
2 月				
3 月				

令和6年度 年間授業計画

東京都立南葛飾高等学校 定時制課程

教科・科目	芸術・工芸 I	2単位	対象学年・組	4学年選択者
教科書 副教材等	工芸 I (日本文教出版)	教科担任	山本 一博	

指導目標	<p>芸術の制作活動に取り組み、工芸を愛好する意欲と態度を育てる。 対象を深く観察する力、豊かに発送し、構想する能力をいっそう高める。 自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。 課題技法を理解し、特性や素材発想の知識を深め安全な道具の使い方、技術の習得を目指す。</p>
------	---

学期	月	指導内容	時数	指導上の留意点
1学期	4	製図、図面作成 正五角形 正十二面体展開図	4	生徒各々の能力に合う様課題難易度に幅を持たせ各々が己の力を十分に発揮し自分の作品に愛情を持って作業できる様に努める。正しい道具の使い方技術の習得を丁寧の指導し、教室環境の整備を整え、安全第一に怪我、事故の無い、解りやすい課題内容を展開する。
	5	正十二面体立体模型模様切り絵作成 切り絵模様作成	8	
	6	正十二面体立体模型模様切り絵作成 切り絵切り取り	8	
	7	正十二面体立体模型模様切り絵作成 組み立て	4	
2学期	9	彫金 擦り出し技法による 指輪制作	8	彫金の特性・技法の理解と知識の習得。生徒各々の能力に合う様に課題難易度に幅を持たせ、各自が己の力を十分に発揮し「自分の作品」に愛情を持って作業を行い、個性の伸長が出来る様に努め、金属の持つ美しさを引き出す制作を行う。
	10	自分自身の指の大きさをサイズリングで測る、焼き入れ、地金切り出し、形を整えに打刻と研磨	8	
	11	刻印入れ、打ち出しの曲げ加工、バーナーでのロウ付け、擦り出し	8	
	12	耐水ペーパーによる研磨、研磨剤仕上げ	4	
3学期	1	ペーパークラフト建築 構想	6	デザイン的な美しさと機能性を考え細かい部分まで丁寧に作業する。作品を美しく仕上げる組立手順を指導する。手順を正しく踏むことが最も早く美しく出来る事を理解し身に付ける。
	2	ペーパークラフト建築 グリーディングカード	8	
	3	ペーパークラフト建築 グリーディングカード	4	

評価の観点・方法	<p>課題制作の興味・関心・意欲など集中力。道具の準備、片付けなど授業態度。 発送と創意工夫による、構成、構図など制作作品の表現力と技術力。 課題の技法、素材の特性などの知識の習得。 作品の状態などを理解する作品鑑賞と資料準備。 提出作品、授業出席率。</p>
----------	--

令和6年度 年間授業計画

東京都立南葛飾高等学校 定時制課程

教科・科目	芸術・書道 I	2単位	対象学年・組	4学年選択者
教科書 副教材等	新編 書道 I (教育出版)	教科担任	齋藤 理絵	

指導目標	書道の幅広い活動を通して、感性を高め、書写能力向上を図り、表現と鑑賞の基礎的能力を伸ばす。
------	---

学期	月	指導内容	時数	指導上の留意点
1学期	4	硬筆書写検定3級の問題	6	基本点画と基本的運筆の理解と修得
	5	楷書 P20臨書「九成宮醜泉銘」	8	
	6	楷書 臨書「蘇慈墓誌銘」	8	
	7	行書 臨書「集王聖教序」	8	
2学期	9	行書 P38臨書「蘭亭序」	6	基本点画と基本的運筆の理解と修得
	10	行書 P46臨書「風信帖」	8	
	11	仮名P84平仮名の単体 P82連綿	8	
	12	仮名 料紙と短冊に俳句を書く	8	
3学期	1	漢字仮名交じりの書 P114 構成の工夫	6	余白の理解
	2			
	3	1年間のまとめ	4	

評価の観点・方法	学習態度、出席状況、作品提出を総合的に評価する
----------	-------------------------

令和6年度 年間授業計画

東京都立南葛飾高等学校 定時制課程

教科・科目	英語・コミュニケーション英語Ⅱ	2単位	対象学年・組	4学年1・2組
教科書 副教材等	VISTA English Communication II New Edition(三省堂)	教科担任	関	

指導目標	<ol style="list-style-type: none"> 英語の「音」「語彙」「文法」の基礎を固め、自分で英語を勉強する力を身につける。 英語を読んだり聞いたりすることを通して、外国の文化に対する理解を深める。 英文を読むこと通じて、想像力や思考力を培う。
------	---

学期	月	指導内容	時数	指導上の留意点
1学期	4	Take a Break! 3 イディオムクイズ ・英語のイディオムを知る。	6	<ul style="list-style-type: none"> 直訳から、どういう意味を表すイディオムかを想像させる。 疑問詞と不定詞の組み合わせに慣れさせる。 seemの用法に慣れさせる。 切手購入についての簡単なやりとりができるようにする。 言語材料を体系的に整理させる。
	5	Lesson 6 ・how to do ・It seems that ～.	8	
	6	ENJOY COMMUNICATION! 3 Where Can I Get a Ticket? ・切符購入の場面でのコミュニケーション活動。	8	
	7	Look and Learn 3 ・文法のまとめ(使役動詞・関係代名詞what・how to do)	5	
2学期	9	Reading Skill 3 ・未知語の意味を推測する。	6	<ul style="list-style-type: none"> 文脈から、未知語の意味を推測できるようにする。 現在完了形と現在完了進行形を使い分けられるようにする。 形式主語itと形式目的語itの違いを理解させる。 部分否定の訳し方に注意させる。 さまざまな助動詞+受け身の形に慣れさせる。 体調についての簡単なやりとりができるようにする。
	10	Lesson 7 ・現在完了進行形 ・形式目的語it	8	
	11	Lesson 8 ・部分否定 ・can be done	8	
	12	ENJOY COMMUNICATION! 4 What's the Matter? ・病院の診察の場面でのコミュニケーション活動。	6	
3学期	1	Reading Skill 4 ・パラグラフの構成を把握する。	15	<ul style="list-style-type: none"> パラグラフの構成を意識しながら読み進めるようにする。
	2			
	3			

評価の観点・方法	課題提出、スピーキングテスト、定期考査
----------	---------------------

令和6年度 年間授業計画

東京都立南葛飾高等学校 定時制課程

教科・科目	家庭科・家庭基礎	2単位	対象学年・組	4年 必修選択
教科書 副教材等	家庭基礎 自立・共生・創造(東京書籍)	教科担任	吉本 未来	

指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自らを大切にし、前向きに生きる力をつけさせる。 ・自分自身の生活を振り返り、自立して生きていくために必要な知識・技能を習得させる。 ・自らの生活を豊かにする力をつけさせる。
------	---

学期	月	指導内容	時数	指導上の留意点
1学期	4	オリエンテーション 持続可能な社会をつくる 大人になるということ (就労とは・求人票の見方)	6	就労意識を高め、自立して生きていくために必要な知識を身につけさせる。 将来、一人暮らしをすることを想定し、快適な住環境について考えさせる。
	5	大人になるということ (家計管理・給与明細の見かた)	8	
	6	住生活 (賃貸物件の選び方)	8	
	7	住生活 (契約トラブル)	6	
2学期	9	経済生活を営む (資産運用・消費者トラブル)	7	高齢者や障がい者への理解を深め、多様な人との関わりについて考えさせる。 食生活が今後の人生におき、重要となることを学ばせ、自らの食事をどうすべきか考えさせる。 簡単な食事が作れるようにさせる。
	10	経済生活を営む(権利と責任・これからの消費生活) 共に生き、共に支える (社会保障・地域福祉)	8	
	11	食生活について学ぶ (調理実習)	8	
	12	食生活について学ぶ (調理実習)	6	
3学期	1	大人になるということ(冠婚葬祭)	6	社会に出て生きていくために必要な知識を身につけ、今後の人生について考えさせる。
	2	大人になるということ(社会人としてのマナー)	4	
	3	大人になるということ (メンタルヘルス・これからの人生設計)	3	

評価の観点・方法	授業や実習への取り組み プリント・作品の提出 出欠状況・忘れ物等平常点を考慮する。
----------	---

令和6年度 年間授業計画

東京都立南葛飾高等学校 定時制課程

教科・科目	情報・社会と情報	2単位	対象学年・組	4学年選択者
教科書 副教材等	最新社会と情報 新訂版（実教出版）	教科担任	朝倉 真実	

学習目標	コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得させるとともに、情報を主体的に活用しようとする態度を育てる。
------	--

学期	月	指導内容	時数	指導上の留意点
1学期	4	各自の技能に応じた、ワード、エクセルの課題演習	4	各自の技能に応じた課題に取り組み、技能を高める。
	5	各自の技能に応じた、ワード、エクセルの課題演習	8	合理的な処理方法について指導する。
	6	各自の技能に応じた、ワード、エクセルの課題演習	8	ただ文章を打つだけではなく、表や罫線を挿入した文章を作るようにする。
	7	各自の技能に応じた、ワード、エクセルの課題演習	4	ただ文章を打つだけではなく、表や罫線を挿入した文章を作るようにする。
2学期	9	各自の技能に応じた、ワード、エクセルの課題演習	7	各自の技能に応じた課題に取り組み、技能を高める。
	10	各自の技能に応じた、ワード、エクセルの課題演習	7	合理的な処理方法について指導する。
	11	各自の技能に応じた、ワード、エクセルの課題演習	8	ただ数値を入れるだけではなく、関数を使うことを重視する。
	12	各自の技能に応じた、ワード、エクセルの課題演習	4	データを正確に入力できるように指導する。
3学期	1	ワード、エクセルの検定問題演習	7	検定試験問題に取り組み、合格するよう指導する。
	2	パワーポイントの基礎	8	
	3	パワーポイントの基礎	5	

評価の観点・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間授業課題をきちんと取り組んでいるか ・正確に処理できるかを総合的に評価する
----------	--

令和6年度 年間授業計画

東京都立南葛飾高等学校 定時制課程

教科・科目	人権・人権Ⅱ	2単位	対象学年・組	4学年1・2組
教科書 副教材等	自主作成プリントなど	教科担任	内田 宏之	

指導目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 様々な人権問題があることを知り、人権問題に対する関心を高める。 2 人権問題を自分自身の課題として受け止め、どう生きていくか考察する。 3 自分自身の考察したことを文字に表現してまとめる。 4 自分自身の考察したことを他人に発表する。 5 他人の発表を丁寧に聞き、自分自身の考察をさらに深める。 <p>以上のことを1年間の授業で繰り返し、人権意識を高めていく。</p>
------	--

学期	月	指導内容	時数	指導上の留意点
1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事や図書などを中心に人権問題に関わる文章や資料を取り上げ、社会の中にどのような人権問題や課題があるのかを学ぶ。 ・具体的な事例を通して、被差別の側からものごとを捉えることを学び、人権問題を自分自身の課題として受け止め、考察したことを文章にまとめる。 	4	<ol style="list-style-type: none"> 1 文章や資料の時代や背景も含めて理解する。 2 同じ事象であっても立場の違いによって捉え方が違ってくることを知る。 3 被差別の側の人たちの「声」に耳を傾けられるようになる。 4 人権問題は遠くの問題ではなく、自分自身の問題であることを理解する。 5 被差別の側を生きてきた人たちの生き方から自分自身の生き方を考える。 6 自分自身を生き立ちや生活も含めて振り返り、自分自身が一番人に伝えたいことは何かについて深く考察できるよう、個別指導を大切にする。 7 精一杯誠実に自分自身を「伝えること」と同時に精一杯誠実に他人の話を「聞くこと」を大切にする。
	5		8	
	6		8	
	7		4	
2学期	9	<ul style="list-style-type: none"> ・被差別の側を生きてきた人たち及び本校の卒業生たちの書いた文章などを中心に教材として取り上げ、厳しい差別の現実に向き合い、どう生き方を変えてきたのかについて学ぶ。 ・上記のことを通して、自分自身の生き立ちや生活を振り返り、自分自身がどう生きるのかについて考え、そのことを文章にまとめる。 	8	
	10		8	
	11		8	
	12		4	
3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの自分自身を振り返り、人に伝えたいことを文章にまとめて発表する。 	6	
	2		8	
	3		4	

評価の観点・方法	出席状況、授業態度、提出物、発表等を加味し、総合的に評価する。
----------	---------------------------------

令和6年度 年間授業計画

東京都立南葛飾高等学校 定時制課程

教科・科目	総合的な学習の時間・人間と社会	1単位	対象学年・組	4学年1・2組
教科書 副教材等	人間としての在り方生き方に関する教科「人間と社会」(東京書籍)	教科担任	渡邊 俊輔・五十嵐 俊介	

指導目標	価値の理解を深める学習、選択・行動に関する能力を育成する学習、体験活動などを通して、道徳性を養い、判断基準(価値観)を高めることで、社会的現実にはらし、よりよい生き方を主体的に選択し行動する力を育成する。
------	--

学期	月	指導内容	時数	指導上の留意点
1学期	4	事前学習	3	<ul style="list-style-type: none"> ・「人間と社会」を学ぶ意義を理解しているか。 ・礼儀や規範意識の大切さを学べたか ・多様な人たちの立場を理解し、違いを認めることができたか。 ・自立することを目標に学びと働くことの意義を理解できたか。
	5	マナーと社会のルールについて考える	4	
	6	支えあう社会	4	
	7	働くことの意義	4	
2学期	9	役割と責任を考える	4	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の属する集団の意義を理解し、それぞれの役割と責任を自覚することができたか。 ・新しいメディア社会に対する自分の考えを考察することができたか。 ・よりよく生きるために自身を省み、他者を理解しようとしたか。
	10	ネット時代	4	
	11	人間関係を築く	4	
	12	2学期のまとめ	2	
3学期	1	地域社会を築く	3	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の一員であることを自覚し、積極的に社会参画する意義を理解できたか。
	2	事後学習	2	
	3	1年間のまとめ	1	

評価の観点・方法	出席率、考查点、提出物(授業プリント、実験レポートなど)、授業態度を考慮する。
----------	---